

森のおくりもの3月



ベニマシコ（アトリ科）



太白山自然観察の森の森に通じる佐保山林道は私の通勤路ですが、この道を車で走っていると、さまざまな生き物たちに出会うことがあります。昨年はカモシカが私の車の前を横切ったり、帰宅時に5頭のイノシシの子どもに通せんぼされたこともありました。

最近ではすぐに写真を撮れるように、車の助手席にはいつもカメラを用意しています。先日、一羽の小鳥が目に留まったので、そっと車から降りてカメラを向けてみると、なんとも色鮮やかなベニマシコ（♂）が枝の上で羽を休めていました。

通勤途中にもこんなに楽しい出来事がありますので、夢中になって遅刻しないように気を付けたいといけません。 【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『万物流転（ばんぶつるてん）』

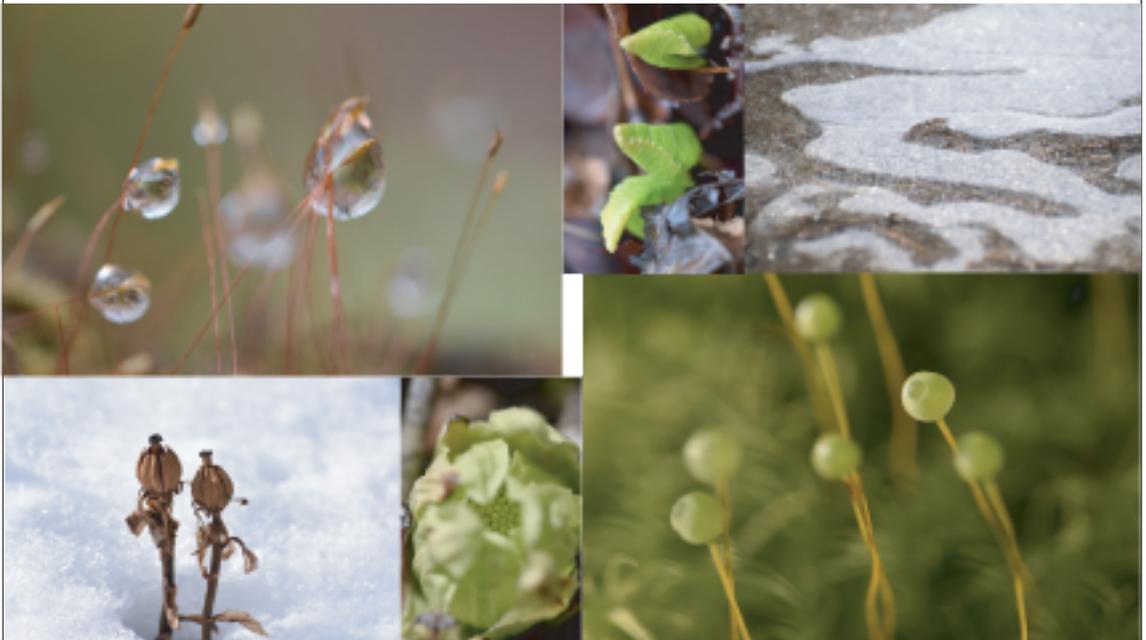
冬は他の季節と比べると自然の変化・移り変わりがゆるやかな時期です。落葉した森の光景は、時が止まったかのような“静”を感じます。変化がないように見えますが、同じところを観察し続けるといつの間にか花が咲いている、昨日は見られなかった鳥や冬越しする昆虫に出会うなど、実は変化していて、その変化に気づくおもしろさがあります。また、雪が降ると光景が一変しますが、このように劇的に変化することは他の季節にはなく、冬ならではのものです。冬の自然は意外に“動”だと思いました。

変わっていないように見えて実は変わっている、そんな様子を表す『万物流転』という言葉があります。古代ギリシャの哲学者が提唱した「この世にあるすべてのものは絶え間なく変化して、とどまることがないということ。すべての存在は同じ状態であることはなく、変化し続ける」という概念です。

この言葉は「今は苦境に立たされていても、いつまでもこのままではない。いつかは変化する」と解釈できるようです。生きていく上では様々な困難に見舞われますが、いつまでも悪いままではなく、いつかは良い変化があるよという希望と思いが込められているように感じます。

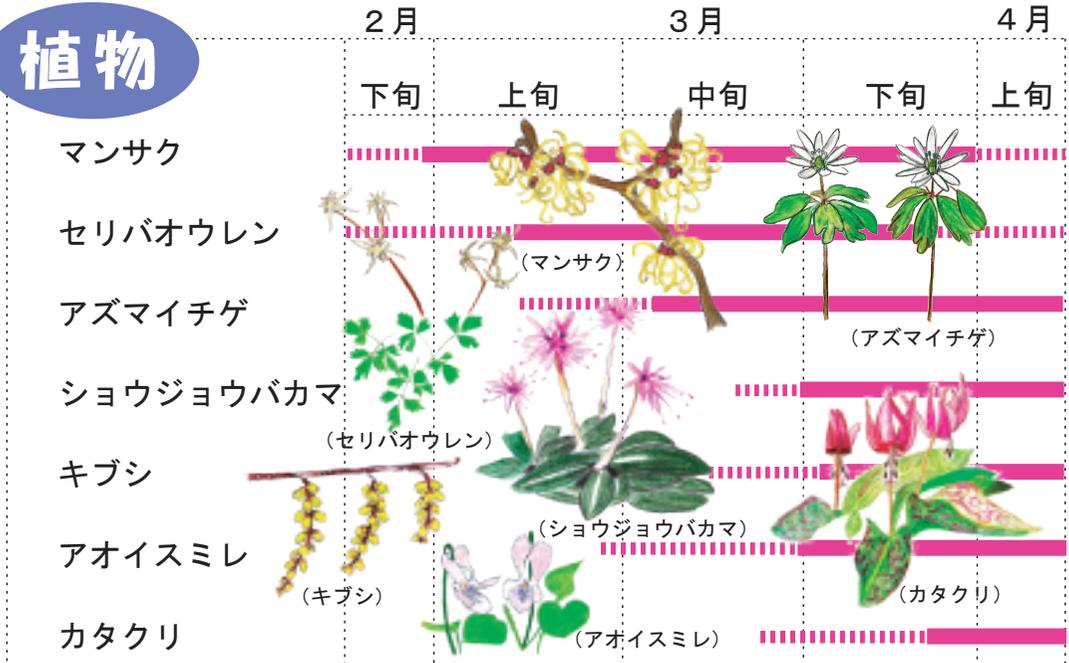
まだ寒い日はありますが、いつまでも冬のままだではありません。森の春はどんどん進んできています。

【レンジャー：新田隆一】



3月の生物ごよみ

植物



2月12日の巡回中、エゴノキの根元でじっとしているキタキチョウを見つけました。このチョウは成虫で冬を越し春を待ちます。成虫で冬越ししているチョウを見つけるのは難しく、過去にはウラギンシジミやルリタテハなどを見つけたことがあります。

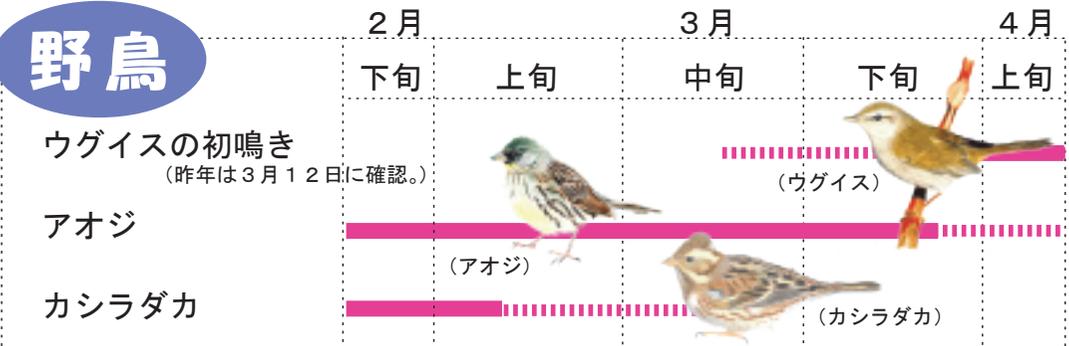
成虫で冬越しするチョウで観察の森で確認されているのはアカタテハ、ヒメアカタテハ、テングチョウ、キタテハ、シータテハ、ヒオドシチョウ、クジャクチョウ、スジボソヤマキチョウなどがいます。

気温が15度を超えるくらいになると飛び立つので暖かい日はそんなチョウたちに出会えるかもしれません。



冬越しをしていたキタキチョウ

野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

森の「おとしもの」



その19 「食事の前には読まないでください」

今回の話題は“うんこ”です、すいません。おとし主わかりますか？



左の写真は2月15日、右は2月28日です。右下に新しい“おとしもの”が増えるなど変化が見てとれます。画像を拡大すると（今回は自粛）植物の種らしきものもあります。

おとし主はタヌキ（ホンドタヌキ）。決まった場所に排泄物をまとめる「ため糞」という習性があります。明確な理由はわかりませんが、なわばりを識別するためだとか、エサなどの情報交換のためではないかと考えられています。お互いの“おとしもの”から誰が何を食べているかをお互いに知るのかもしれないですね。夜な夜な「ため糞情報センター」に集まったタヌキたちが「むむむ！山向こうのタヌ吉のやつめ！こんなに沢山のカキの実ひとり占めしやがって～」などと言ったとか言わなかったとか…。



【レンジャー：木田秀幸】

森は糸 森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

観察の森は、雪もほとんど積もらないまま春を迎えようとしています。例年ならこの時期閉じたままの冬芽もすっかり膨らみ、中には一足早く花を咲かせる植物も見られるようになってきました。ハクチョウが観察の森の上空を群れをつくって渡る姿にちょっと戸惑いを感じてしまいます。一方、繁殖期を迎えたリスやイノシシには待ちに待った春の訪れかもしれません。(^^♪



写真の①は、セリバオウレンの中性花で、めしべ、おしべがそろってますね
同じセリバオウレンですが、②はおしべだけの花、雄花です。③はマンサクの
花です。夕暮れの写真ですが黄色の花びらがクモの足のようですね。④はアズ
マスケの花です。花の頂上部分にはおしべが、その下のわきから出ているのは
めしべです。さて、リスの巣⑤が落ちて枝に引っかかっていますよ。何があっ
たのでしょうか。周りにはリスがはがした樹皮の跡⑥が多くみられました。巣
はスギの樹皮で作るんですね。⑦は、霜がついたようにきれいなヤブムラサキ
のがくです。まだ残っていたんですね。こっちにはアブラツツジの実⑧です。
風の通った痕でしょうか。観察路のわきからゴリラが！⑨はコナラの枯木につ
いたキノコでした。あーびっくり！(^^♪ 【レンジャー：菅原 幸彦】



3月

のイベント&お知らせ



◆新型コロナウイルスの感染症対策のため下記のイベントを中止します。

おはよう野鳥かんさつ

春の森を歩きながら講師の解説と一緒に野鳥の声と姿を探します。

【日 時】3月14日(土) 午前6時半～8時

【持ち物】あたたかく歩きやすい服装と靴、観察用具(双眼鏡貸出あり)

※申込み不要です。開始時刻までに観察センター前までお集まりください。



早春の植物かんさつ会

森で見られる春の草花を講師と共に観察し、解説してもらいます。

【日 時】3月28日(土) 午前10時～11時30分

【持ち物】歩きやすい服装と靴 【定 員】20名

【申込み】3月6日(金)18時より電話受付



「小鳥のレストラン」もうすぐ閉店!

えさくまの野鳥たちをあたたかい部屋の中から観察しませんか? 3月31日まで。

ガイドウォークは3月まで午前1回です。

3月まで午前10:00～11:30のみの開催(4月より午前と午後の2回)です。

毎週日曜 『ガイドウォーク』の日!

開催日: 1日, 8日, 15日, 22日, 29日

開催時間: 10:00～11:30

今月のテーマ: 「早春の森の楽しみ」

3月29日は「館長と森を歩こう」です

3月の休館日

2日(月)、9日(月)、
16日(月)、23日(月)、
30日(月)

※月曜日が祝祭日の場合は
火曜日が休館です。



宮城交通バスの場合

① 仙台駅 乗車時間 約40分
② 長町駅東口 乗車時間 約30分
③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分

【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

お車の場合
国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



太白団地
公営アパート前
SEIYU
太白第二橋(行き止まりの橋)
自然観察センター

釣取イオンスーパーセンター
新仙台郵便局
山田交差点
釣取ヨークタウン
名取川

自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2020年3月号(毎月1回5日発行)
発行:(公財)仙台市公園緑地協会
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL:<http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>